

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」

2015年総目次（126号～137号。全12号配信）

126号:2015.1.1（20頁＋別ファイル：7頁）

1. 論文：[2013年度学界回顧と展望] 保健・医療部門
（『社会福祉学』第55巻第3号：235-245頁,2014.11.30）
2. 論文：日本福祉大学の管理運営改革－民主的でスピード感ある運営と情報公開の徹底
（「私の私学考 350」『私学経営』No.478:4-10頁,2014.12.1.別ファイル：14私学経営12月号二木論文.pdf）
3. 最近出版された医療経済・政策学関連図書（洋書）のうち一読に値すると思うものの紹介（その28）：7冊
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その121）－最近知った名言・警句

127号:2015.2.1(18頁)

1. 論文：衆院選結果と第三次安倍内閣の医療政策を複眼的に考える
（「二木学長の医療時評」（128）『文化連情報』2015年2月号（443号）16-25頁）
2. 書評：岩崎晋也、岩間伸之、原田正樹編『社会福祉研究のフロンティア』
（『月刊福祉』2015年2月号（98巻2号）：100頁）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算108回、2014年分その10：6論文）
4. 私の好きな名言・警句の紹介（その122）－最近知った名言・警句

128号:2015.3.1（18頁）

1. 論文：「地域包括ケアシステム」の法・行政上の出自と概念拡大の経緯を探る
（「二木学長の医療時評」（129）『文化連情報』2015年3月号（444号）：20-28頁）
2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算109回、2014年分その11：9論文）
3. 私の好きな名言・警句の紹介（その123）－最近知った名言・警句

129号:2015.4.1（17頁＋別ファイル）

1. 論文：「地域医療連携推進法人制度」案をどう読むか？
（「深層を読む・真相を解く」（41）『日本医事新報』2015年3月21日号（4743号）：17-18頁）
2. インタビュー：介護職員の待遇改善を
（「朝日新聞」2015年3月23日朝刊4面。「報われぬ国 負担増の先に 総集編上 支え合い保つには 高齢化の中で 識者に聞く」）
3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算110回、2015年分その1：6論文）

4. 私の好きな名言・警句の紹介（その 124）－最近知った名言・警句
5. 大学院「入院」生のための論文の書き方・研究方法論等の私的推薦図書（2015 年度版, ver. 17）（別ファイル:15 院本推薦二木.doc）

参考 1：日本福祉大学 2014 年度学位授与式・学長式辞（2015 年 3 月 21 日）

（日本福祉大学ホームページ：学園・大学案内→大学概要→学長メッセージ→2014 年度）

参考 2：日本福祉大学 2015 年度入学式・学長式辞（2015 年 4 月 1 日）

（日本福祉大学ホームページ：学園・大学案内→大学概要→学長メッセージ→2015 年度）

130 号:2015.5.1（9 頁）

1. 論文：[厚生労働省「医療法人の事業展開等に関する検討会」]「取りまとめ」の隠れた狙いと今後の病院再編の見通し（『文化連情報』2015 年 5 月号（446 号）：21-22 頁。『日本医事新報』2015 年 3 月 21 日号掲載論文「『地域医療連携推進法人制度』案をどう読むか？」（本「ニューズレター」129 号）を同誌に転載したときの「補論」）。

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算 111 回、2015 年分その 2：5 論文）

3. 私の好きな名言・警句の紹介（その 125）－最近知った名言・警句

131 号:2015.6.1（12 頁）

1. 論文：財務省の社会保障改革提案の「基本的考え方」と医療制度改革を複眼的に読む（「二木学長の医療時評」（131）『文化連情報』2015 年 6 月号（447 号）：8-13 頁）

2. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文（通算 112 回、2015 年分その 3：5 論文）

3. 私の好きな名言・警句の紹介（その 126）－最近知った名言・警句

132 号：2015.7.1（18 頁）

1. 論文：「地域医療構想策定ガイドライン」と関連文書を複眼的に読む、【補足】「専門調査会第 1 次報告」をどう読むか？（「二木学長の医療時評」（132）『文化連情報』2015 年 7 月号（448 号）：10-16 頁）

2. インタビュー：「医療界の 5 つの論点 [の 3 つに回答]」

（『月刊／保険診療』2015 年 6 月号（1507 号）：15-17, 25-26, 34-35 頁）

3. 私の好きな名言・警句の紹介（その 127）－最近知った名言・警句

133 号:2015.8.1（18 頁）

1. 論文：「骨太方針 2015」の社会保障費抑制の数値目標をどう読むか？

（「深層を読む・真相を解く」（45）『日本医事新報』2015 年 7 月 18 日号（4760 号）：17-18 頁）

2. 論文：今後の訪問リハビリテーションと 2015 年介護報酬改定

（『地域リハビリテーション』2015 年 7 月号（10 巻 7 号）：503-507 号）

3. 池上直己教授退任記念祝賀会・発起人代表挨拶（2015 年 7 月 25 日）

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算 113 回. 2015 年分その 4 : 6 論文)

5. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 128) - 最近知った名言・警句

134 号:2015.9.1 (27 頁+別ファイル)

1. 論文: 病床「20 万削減」報道をどうみるか? - 「専門調査会第 1 次報告」と「ガイドライン」との異同の検討 (「深層を読む・真相を解く」(44)『日本医事新報』2015 年 6 月 27 日号 (4757 号) : 10-15 頁。 ※133 号に転載するのを忘れました)

2. 論文: 病院病床の大幅削減は困難と考えるもう 1 つの理由 - 削減策失敗の歴史に学ぶ (「深層を読む・真相を解く」(46)『日本医事新報』2015 年 8 月 15 日号 (4764 号) : 17-18 頁)

3. 論文: 地域包括ケアシステムにおける供給と編成 - 医療経済・政策学の視点から (「二木学長の医療時評」(133)『文化連情報』2015 年 9 月号 (450 号) : 8-20 頁)

4. インタビュー: 地域医療構想の行方 - 病院病床の大幅削減は生じない (『国際医薬品情報』2015 年 7 月 27 日号 (1038 号) : 24-29 頁。別ファイル: 150727 国際医薬品情報.pdf)

5. 拙新著『地域包括ケアと地域医療連携』(勁草書房,2015 年 10 月 24 日出版予定) 目次

6. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算 114 回. 2015 年分その 5 : 5 論文)

7. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 129) - 最近知った名言・警句

135 号:2015.10.1 (16 頁)

1. 論文: 地域包括ケアシステムと地域医療構想との関係をどう考えるか?

(「深層を読む・真相を解く」(47)『日本医事新報』2015 年 9 月 12 日号 (4768 号) : 15-16 頁)

2. 拙新著『地域包括ケアと地域医療連携』(勁草書房,2015 年 10 月出版) 「はじめに」

3. 最近出版された医療経済・政策学関連図書(洋書)のうち一読に値すると思うものの紹介 (その 29) : 7 冊

4. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算 115 回. 2015 年分その 6 : 6 論文)

5. 私の好きな名言・警句の紹介 (その 130) - 最近知った名言・警句

136 号:2015.11.1 (10 頁+別ファイル)

1. 論文: 厚労省プロジェクトチーム「福祉の提供ビジョン」をどう読むか? - 医療関係者が注目・参考にすべき 3 点 (「深層を読む・真相を解く」(48)『日本医事新報』2015 年 10 月 17 日号 (4773 号) : 17-18 頁)

2. 二木学長の出版記念インタビュー: 厚生連の枠を超えて地域の医療・福祉機関、住民、行政と協力し、大きな役割を果たしてほしい

(『文化連情報』2015 年 11 月号 (452 号) : 10-16 頁。別ファイル: 1511 文化連情報インタビュー.pdf)

3. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

(通算 116 回. 2015 年分その 7 : 5 論文)

4. 私の好きな名言・警句の紹介（その 131）－最近知った名言・警句

137号：2015.12.1（26頁＋別ファイル）

1. 論文：第二期安倍政権の医療制度改革－「骨太方針 2015」と医療提供体制改革を中心に（『月刊／保険診療』2015年11月号（70巻12号、通巻1512号）：54-59頁）。

2. 談話：（T P P [交渉大筋合意直後の] 識者評論）将来の危険は否定できず－医薬品高騰、営利産業化（「共同通信」2015年10月9日配信。「山陰中央日報」・「東奥日報」10月11日、「秋田さきがけ」2015年10月14日、「西日本新聞」・「高知新聞」10月15日、「徳島新聞」10月17日に掲載）。

3. 報告：厚労省P T「福祉の提供ビジョン」をどう読むか（2015年11月1日第45回全国社会福祉教育セミナー【京都 2015】ソ教連主催緊急企画「新たな時代に対応した福祉の提供ビジョン」の公表と求められる社会福祉士養成教育～社会福祉士養成カリキュラムの見直しに向けて～ 発題1。日本福祉大学ホームページ「学長メッセージ」欄、日本社会福祉教育学校連盟ホームページ等に掲載）。

…136号転載の同名論文（『日本医事新報』10月17日号掲載）の大幅拡充版です。

4. 追悼文：故三浦文夫先生を偲び、思い出を語る集い「思い出及び感謝の言葉」

（2015年11月3日、東京・アルカディア市ヶ谷で開催。日本福祉大学ホームページ「学長メッセージ欄」に掲載）。

5. 最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文

（通算117回。2015年分その8：6論文）

6. 私の好きな名言・警句の紹介（その 132）－最近知った名言・警句

補. 「ニューズレター」2015年総目次（126～137号。全12号。医療経済・政策学関連の洋書・英語論文の目次、名言・警句の人名索引付き）（別ファイル：15NL目次.doc）

「二木立の医療経済・政策学関連ニュースレター」2015年(126～137号)

最近出版された医療経済・政策学関連図書(洋書)のうち一読に値すると思うものの紹介
2015年目次: 2回・合計14冊(累計226冊)

126号:2015.1.1:(その28)7冊

○キャリア編『医療経済学百科事典』

Culyer AJ (Editor-in-chief): Encyclopedia of Health Economics. Elsevier, 2014, 3 Volumes, 483+490+604 pages.

○キャリア著『医療経済学辞典 第3版』

Culyer AJ: The Dictionary of Health Economics, Third Edition. Edward Elgar, 2014, 724 pages.

○『臨床試験の経済評価 第2版』

Glick HA, Doshi JA, Sonnad SS, Polsky D: Economic Evaluation in Clinical Trials, Second Edition (Handbooks in Health Economic Evaluation). Oxford University Press, 2015, 252 pages.
[中級教科書]

○『費用便益分析と医療の評価 第2版』

Brent RJ: Cost-Benefit Analysis and Health Care Evaluation Second Edition. Edward Elgar, 2014, 481 pages. [研究書・上級教科書]

○『医療保険におけるモラルハザード』

Finkelstein A with Arrow KJ, et al: Moral Hazard in Health Insurance (Kenneth J. Arrow Lecture Series). Columbia University Press, 2015, 146 pages. [研究シンポジウム記録]

○『[イギリスの] 医療を改革する一何がエビデンスか?』

Greener I, et al: Reforming Health Care - What's the Evidence? Policy Press, 2014, 186 pages. [研究書]

○『アメリカの医療政治・政策 第4版』

Patel K, Rushefsky ME: Health Care Politics and Policy in America, Fourth Edition. M.E.Sharpe, 2014, 434 pages. [上級教科書]

135号:2015.10.1:(その29)7冊

○『日本の医療技術[医療機器]—規制の政治学』

Altenstetter C: Medical Technology in Japan - The Politics of Regulation. Transaction Publishers, 2014, 204 pages. [研究書]

○『[アメリカにおける] 医療技術の購入—適切な正しい技術を、適切な患者に、適切な価格で』

Robinson JC: Purchasing Medical Innovation - The Right Technology, For The Right Patients, At The Right Price. University of California Press, 2015, 172 pages. [研究書]

○『医療の費用曲線を曲げる[医療費の増加率を抑制する]—国際的視野から見たカナダ諸州』

Marchildon GP, Matteo L (Ed.): Bending the Cost Curve in Health Care - Canada's Provinces in International Perspective. University of Toronto Press, 2015, 479 pages. [研究論文集]

○『NHSが売りに出されている－神話と嘘と裏切り』

Davis J, Lister J, Wringley D: NHS for Sale - Myths, Lies & Deception. Merlin Press, 2014, 15, 367 pages. [評論]

○『新自由主義的医療編成－コミュニケーション、意味と政治』

Dutta MJ: Neoliberal Health Organizing - Communication, Meaning, and Politics. Walnut Creek, 2015, 264 pages. [研究書]

○『医療サービス入門－基礎と課題』

Healey BJ, Evans TM (Ed.): Introduction to Health Care Services. Jossey-Bass, 2015, 445 pages. [初級教科書]

○チャールズ・ヴィンセント著、相馬孝博・藤澤由和訳『患者安全 原書第2版』篠原出版新社, 2015, 442頁, 6200円＋税 [研究書・上級教科書]

Vincent C: Patient Safety, 2nd Edition, Wiley & Son Limited, 2010.

最近発表された興味ある医療経済・政策学関連の英語論文・目次

合計59論文 (累計 758 論文)

127号(2015.2.1)(通算 108回. 2014年分その 10:6論文)

○ [オランダにおける] 一般医療と専門医療の境界：一般医療の [診断・治療] サービスを増やすと内科専門医への紹介を減らすことができるか？

van Dijk CE, et al: The primary-secondary care interface: Does provision of more services in primary care reduce referrals to medical specialists? Health Policy 118(1):48-55,2014. [量的研究]

○カナダの医療政策における州政府医療費の増加要因としての医師数

Matteo LD: Physician numbers as a driver of provincial government health spending in Canadian health policy. Health Policy 118(1):18-35,2014. [量的研究]

○医師の供給が健康状態に与える影響：カナダでの結果

Pierard E: The effect of physician supply on health status: Canadian evidence. Health Policy 118(1):56-65,2014. [量的研究]

○医師への支払い方式、病院の在院日数、および再入院率：[カナダでの] 自然実験から得られた結果

Echevin D, et al: Physician payment mechanisms, hospital length of stay, and risk of readmission: Evidence from a natural experiment. Journal of Health Economics. 36(7):112-124,2014. [量的研究]

○新生児治療における供給者誘発需要：日本からのエビデンス

Shigeoka H (重岡仁), Fushimi K (伏見清秀): Supplier-induced demand for newborn treatment: Evidence from Japan. Journal of Health Economics 35:162-178,2014 [量的研究]

○医師統合の再検討ー3カ国 [アメリカ、イギリス、ドイツ] における金銭的誘因と専門職の意識に配慮した誘因についての [質的・] 探索的研究

Janus K, et al: Physician integration revisited - An explanatory study of monetary and professional incentives in three countries. Health Policy 118(1):14-23,2014. [質的研究]

128号(2015.3.1)(通算 109回. 2014年分その 11:9論文)

<国際比較研究・文献レビュー>

○医療サービスの国際貿易：世界的トレンドと各地方へのインパクト

Lautier M: International trade of health services: Global trends and local impact. Health Policy 118(1):105-113,2014. [国際比較研究]

○高齢者の国際調査が [医療の] アクセス、協調と患者中心のケア面での弱点を見いだす

Osborn R, et al: International survey of older adults finds shortcomings in access, coordination, and patient-centered care. Health Affairs 33(12):2247-2255,2014. [国際比較研究]

○すべては平等：公平にとって医療をどう組織しどう医療費を支払うかは重要か？ [定量的

介入研究の]国際的エビデンスの文献レビュー

Bambra C, et al: All things being equal: Does it matter for equity how you organize and pay for health care? A review of the international evidence. International Journal of Health Services 44(3):457-477,2014. [文献レビュー・国際比較研究]

○質のチェック：[医療の質]にとって医療をどう組織しどう医療費を支払うかは重要か？ [定量的介入研究の]国際的エビデンスの文献レビュー

Footman K, et al: Quality check: Does it matter for quality how you organize and pay for health care? A review of the international evidence. International Journal of Health Services 44(3):479-505,2014.[文献レビュー・国際比較研究]

○ヨーロッパ [の5か国] の病院における急性心筋梗塞と脳卒中患者治療の質、費用、および両者のトレードオフ

Haekkinen U, et al: Quality, cost, and their trade-off in treating AMI and stroke patients in European hospitals. Health Policy 117(1):15-27,2014. [量的研究、国際比較研究]

<その他>

○大きいことはいつも良いといえるか？ [デンマークにおける] 大腿骨骨折手術数、術後30日以内死亡率、入院医療の質と在院日数についての全国調査

Kristensen PK, et al: Is bigger always better? A nationwide study of hip fracture unit volume, 30-day mortality, quality of in-hospital care, and length of hospital stay. Medical Care 52(12):1023-1029,2014.[量的研究]

○ドイツにおける外来サービス利用の地域差

Kopetsch T, et al: Regional variation in the utilization of ambulatory services in Germany. Health Economics 23(12):1481-1492,2014. [量的研究]

○終末期医療費の決定要因：台湾で得られたエビデンス

Chang S, et al: The determinants of health care expenditure toward the end of life: Evidence from Taiwan. Health Economics 23(8):951-961,2014. [量的研究]

○費用対効果についての最新情報： [アメリカにおける] 1 QALY 当たり5万ドルという閾値の奇妙な復元力

Neumann PJ, et al: Updating cost-effectiveness - The curious resilience of the \$50,000-per-QALY threshold. NEJM 371(9):796-797,2014. [評論]

129号(2015.4.1)(通算110回. 2015年分その1:6論文)

○ [アメリカの] 患者保護・医療費負担適正化法施行後早期の雇用者提供 [医療] 保険の変化の検討

Blavin F, et al: An early look at changes in employer-sponsored insurance under the Affordable Care Act. Health Affairs 34(1):170-177,2015. [量的研究]

○革新的技術に対応したアメリカ [・メディケア] の病院支払いの調整はドイツ、フランスと日本に遅れをとっている

Hernandez J, et al: US hospital payment adjustments for innovative technology lag behind those in Germany, France, and Japan. Health Affairs 34(2):261-270,2015. [政策比較研究]

○マクロ経済が医療保険加入率に与える影響： [アメリカにおける 2007～2009年] 大不

況から得られたエビデンス

Cawley J, et al: The impact of the macroeconomy on health insurance coverage: Evidence from the Great Depression. Health Economics 24 (2):206-223,2015. [量的研究]

○病院の生産効率の向上：国際的エビデンスの文献レビューから得られた知見

Rumbold BE, et al: Improving productive efficiency in hospitals: Findings from a review of the international evidence. Health Economics, Policy and Law 10 (1):21-43,2015. [文献レビュー]

○フランスとアメリカの再入院率の比較

Comparison of rehospitalization rates in France and the United States. Journal of Health Services Research & Policy 20 (1):18-25,2015. [量的研究・比較研究]

○【イギリスの】病院市場集中度と股関節置換術後患者の健康状態改善との関連

Feng Y, et al: Association between market concentration of hospitals and patient health gain following hip replacement surgery. Journal of Health Services Research & Policy 20 (1):11-17,2015. [量的研究]

130号(2015.5.1)(通算111回.2015年分その2:5論文)

○地域居住の認知症高齢者の【急性期】入院予防の介入研究の体系的文献レビュー

Phelan EA, et al: A systematic review of intervention studies to prevent hospitalizations of community-dwelling older adults with dementia. Medical Care 53 (2):207-213,2015. [文献レビュー]

○薬剤費抑制についての国際的経験：患者と【医療サービス】提供者に影響を与え、【医薬品】産業を規制する一体系的文献レビュー

Lee I-H, et al: International experience in controlling pharmaceutical expenditure: Influencing patients and providers and regulating industry - A systematic review. Journal of Health Services Research & Policy 20 (1):52-59,2015. [文献レビュー]

○入院【包括】払い方式の新医療技術の導入における役割：現状の国際比較研究

Sorenson C, et al: The role of hospital payments in the adoption of new medical technologies: An international survey of current practice. Health Economics, Policy and Law 10 (2):133-159,2015. [国際比較研究]

○国際金融危機の財政的影響：OECD加盟国の医療費

Morgan D, et al: Financial impact of the GFC: Health care spending across the OECD. Health Economics, Policy and Law. 10 (1):7-19,2015. [国際比較研究]

参考:D・スタックラー、S・バス著『経済政策で人は死ぬか？公衆衛生学から見た不況対策』（草思社,2014.原著2013）

○種々のタイプのQALY改善に対する一般市民の支払い意志(WTP)額の比較

Pennington M, et al: Comparing WTP values of different types of QALY gain elicited from the general public. Health Economics 24 (3):280-293,2015. [量的研究]

131号(2015.6.1)(通算112回.2015年分その3:5論文)

○【アメリカにおける】地域要因と病院への再入院率

Herrin J, et al: Community factors and hospital readmission rates. Health Services Research

50(1):20-39,2015. [量的研究]

○ [アメリカでは] 「医療情報交換 (H I E) [システム]」が普及したにもかかわらず、それが医療の費用・利用・質にインパクトを与えたとのエビデンスはほとんどない

Rahurkar S, et al: Despite the spread of health information exchange, there is little evidence of its impact on cost, use, and quality of care. Health Affairs 34 (3):477-483,2015. [文献レビュー]

○ [アメリカにおける] 高額なガン治療を受けることと死亡率に影響する諸要因：白血病とリンパ腫に対する [造血] 幹細胞移植から得られたエビデンス

Mitchell JM, et al: Factors affecting receipt of expensive cancer treatments and mortality: Evidence from stem cell transplantation for leukemia and lymphoma. Health Services Research 50(1):197-216,2015. [量的研究]

○ [アメリカの] 無保険のガン患者に対する外来医療請求額は高額で、そのために治療を受けられなくなっている

Dusetzina SB, et al: For uninsured cancer patients, outpatient charges can be costly, putting treatments out of reach. Health Affairs 34(4):584-591,2015. [量的研究]

○ 西ヨーロッパ諸国と比べたアメリカのガン治療の価値を再評価する新しい分析

Soneji S, et al: New analysis reexamines the value of cancer care in the United States compared Western Europe. Health Affairs 34(3):390-399,2015. [国際比較研究・量的研究]

133号(2015.8.1)(通算113回. 2015年分その4:6論文)

○ [多病院] システム (病院チェーン) は本当に解決策といえるのか? アメリカの病院チェーンの営業費

Burns LR, et al: Is the system really the solution? Operating costs in hospital systems. Medical Care Research and Review 72(3):247-272,2015. [量的研究]

○ 極端なマークアップ：請求額対費用比がもっとも高いアメリカの50病院

Bai G, et al: Extreme markup: The fifty US hospitals with the highest charge-to-cost ratios. Health Affairs 34(6):922-928,2015. [量的研究]

○ 全米の [4つの] 病院ランキングの評価尺度にはほとんど共通点がなく、透明化ではなく混乱を生んでいる可能性がある

Austin JM, et al: National hospital ratings systems share few common scores and may generate confusion instead of clarity. Health Affairs 34(3):423-430,2015. [量的研究]

○ [アメリカの] メディケアで義務的された [新型の] 病院の質に応じた支払い (P4P) プログラムの初期の効果

Ryan AM, et al: The early effects of Medicare's mandatory hospital pay-for-performance program. Health Services Research 50(1):81-97,2015. [量的研究]

○ [アメリカにおける] 手術アウトカムの質報告プログラムへの病院の参加とメディケア加入者の費用との関連

Osborne NH, et al: Association of hospital participation in a quality reporting program with surgical outcomes and expenditures for Medicare beneficiaries. JAMA 313(5):496-504,2015. [量的研究]

○ [アメリカにおける] 2003~2013年の病院閉鎖は地域の入院率にも死亡率にも測定可能

な影響を与えなかった

Joynt KE, et al: Hospital closures had no measurable impact on local hospitalization rates of mortality rates, 2003-2011. Health Affairs 34 (5):765-772,2015. [量的研究]

134号(2015.9.1)(通算114回. 2015年分その5:5論文)

○医療と社会サービスの財源統合：エビデンスのレビュー

Mason A, et al: Integrating funds for health and social care: An evidence review. Journal of Health Services Research & Policy 20(3):177-188,2015. [文献レビュー]

○イングランドにおける医療と社会サービスの統合—進歩と展望

Humphries R: Integrated health and social care in England - Progress and prospects. Health Policy 119(7):856-859,2015. [政策研究]

○再入院 [減少] 政策比較のためのロードマップをデンマーク、イングランド、ドイツ、アメリカに適用する

Kristensen SR, et al: A roadmap for comparing readmission policies with application to Denmark, England, Germany and the United States. Health Policy 119(3):264-273,2015. [国際比較]

○ [アメリカの] 医療費が高額な障害認定メディケイド受給者に対する集中的ケアマネジメントのランダム化比較試験

Bell JF, et al: A randomized controlled trial of intensive care management for disabled Medicaid beneficiaries with high health care costs. Health Services Research 50(3):663-689,2015. [量的研究]

○ [アメリカの] メディケイドの50年：予期せぬ政治 [的要因] に助けられ急成長

Sparer MS: Medicaid at 50: Remarkable growth fueled by unexpected politics. Health Affairs 34(7):1084-1091,2015. [歴史研究]

135号(2015.10.1)(通算115回. 2015年分その6:6論文)

○ [オーストリアにおける] 健康スクリーニングの効果

Hackl F, et al: The effectiveness of health screening. Health Economics 24(8):913-935,2015. [量的研究]

○台湾の国民医療保健での [無料の] 予防医療が高齢者の治療リスクを抑制する効果

Chen C-S, et al: The effectiveness of preventive care at reducing curative care risk for the Taiwanese elderly under National Health Insurance. Health Policy 119(6):787-793,2015. [量的研究]

○ [アメリカの] ナーシングホーム内ホスピスケアの増加に伴うメディケア費用の変化

Gozalo P, et al: Changes in Medicare costs with the growth of hospice care in nursing homes. NEJM 372(19):1823-1831,2015. [量的研究]

○ [アメリカの障害者] 支援技術 (機器) がフォーマル及びインフォーマルな在宅ケアに与える影響

Anderson WL, et al: The impact of assistive technologies on formal and informal home care. Gerontologist 55(3):422-433,2015. [量的研究]

○フォーマル [なケア] か、インフォーマル [なケア] か、誰が気にするか? [オランダ

とドイツの] 公的長期ケア保険の影響

Bakx P, et al: Going formal or informal, who cares? The influence of public long-term care insurance. Health Economics 24 (6):631-643,2015. [質的・量的政策研究]

○アメリカのインフォーマルな高齢者ケアの機会費用：アメリカ人の生活時間調査を用いた新しい推計

Chari AV, et al: The opportunity costs of informal elder-care in the United States: New estimates from the American time use survey. Health Services Research 50 (3):871-882,2015. [量的研究]

136号(2015.11.1)(通算116回, 2015年分その7:5論文)

○機械は「きしむ」：OECD加盟国における医療技術と医療費

Willeme P, et al: Machines that go "ping": Medical technology and health expenditures in OECD countries. Health Economics 24 (8):1027-2041,2015. [量的研究]

○なぜ症例数の多い病院のアウトカムは良いのか？症例数・アウトカム関係における中間的要因についての体系的文献レビュー

Mesman R, et al: Why do high-volume hospitals achieve better outcomes? A systematic review about intermediate factors in volume-outcome relationship? Health Policy 119 (8):1055-1067,2015. [文献レビュー]

○[アメリカの] メディケア・パートBの[診療]密度と[診療]量の埋め合わせ

Brunt CS: Medicare Part B intensity and volume offset. Health Economics 24 (8):1009-1026,2015. [量的研究]

○[アメリカ・カリフォルニア州における] 救急車受け入れ不能に伴う循環器系技術へのアクセス減少と1年後死亡率

Shen Y-C, et al: Ambulance diversion associated with reduced access to cardiac technology and increased one-year mortality. Health Affairs 34 (8):1273-1280,2015. [量的研究]

○アメリカの病院から急性期後医療施設への転院増加に伴う患者と入院の諸特性

Burke RE, et al: Patient and hospitalization characteristics associated with increased postacute care facility discharges from US hospitals. Medical Care 53 (6):492-500,2015. [量的研究]

137号(2015.12.1)(通算117回, 2015年分その8:6論文)

○[アメリカにおける] 病院統合の潜在的危険 [医療の] 質、アクセス、価格への含意

Xu T, et al: The potential hazards of hospital consolidation Implication for quality, access and price. JAMA 314 (13):1337-1338,2015. [評論]

○[アメリカにおける] 大腿骨骨折で急性期後医療施設から地域に退院した患者の最初の30日間の調査

Leland NE, et al: An examination of the first 30 days after patients are discharged to the community from hip fracture post acute care. Medical Care 53 (10):879-887,2015. [量的研究]

○日本の公的普遍的[介護保険]制度の下での、介護者・世帯の特性に関連したフォーマルな長期ケア利用の格差：2001-2010年

Tokunaga M (徳永睦), et al: A gap in formal long-term care use related to characteristics of caregivers and households, under the public universal system in Japan: 2001-2010. Health Policy

119(6):840-849,2015. [量的研究]

○ **【デンマークにおける】世界初の脂肪税の成功と失敗**

Bodker M, et al: The rise and fall of the world's first fat tax. Health Policy 119(6):737-742,2015.
[政策研究]

○ **【アメリカにおける】患者中心の医療とは何か？諸モデルの類型と使命**

Tanenbaum SJ: What is patient-centered care? A typology of models and missions. Health Care Analysis 23(3):272-287,2015. [理論研究]

○ **能動的連帯とそれへの不満**

Trappenburg MJ: Active solidarity and its discontents. Health Care Analysis 23(3):207-220,2015.
[理論研究]

「二木立の医療経済・政策学関連ニューズレター」2015年(126~137号)

「私の好きな名言・警句の紹介」2015年分 人名索引

注：カッコ内は「ニューズレター」の号数。各行ごとに「ニューズレター」掲載順。外国人は姓のみ（ただし例外あり。例：トム・クルーズ）。映画・テレビドラマ・芝居のセリフはその名称（「」表示）。カッコ内の(A=B)：B号で初めて紹介したもののA号での再掲。

あ行

内田義彦(126),天野浩(126),井口昭久(126),上野千鶴子(126,134,135),内田樹(127),翁長雄志(127),安倍晋三(127,135),岩本太郎(128),岩垂廣(128),枝野幸男(128),奥平康弘(129),浅田次郎(129),大塚義治(129,136),王貞治(129),エンゲルス(130,131),大沢文夫(130),アイザックソン,W(130),落合恵子(130),五百旗頭真(131),植松努(131),井上ひさし(131),今岡洋史(132),加藤秀俊(132=13),大林辰蔵(132),オバマ(132),上原浩治(133),蛭子能収(133),上野谷加代子(134),赤川次郎(135),岡田玲一郎(135),大村智(136),伊坂幸太郎(136),OECD 調査団(137),大沼保昭(137),上田敏(137),伊藤計劃(137)

か行

加藤周一(126,129),カップ,KW(126),五神真(126),君原健二(127=32),木田元(12),京極高宣(128),鹿島茂(128),サルトル(129=48),木村草太(129),川上武(129),グレッグ,IP(131),小島慶子(131),小谷野敦(132),香山リカ(132),川上和男(132,133),川上憲人(133),近藤尚巳(133),小谷元子(133),川内國平(134),ケネディ,JP(134),海部宣男(134),栗山義樹(135),黒川清(136),勝俣範之(136),カーソン,B(137),角野栄子(137),岸部一徳(137),北野武(137),工藤公康(137)

さ行

スキデルスキー,R(126),スタックラー,D(130),坂井順子(130),篠田桃紅(131),佐藤優(132,135,136,137),迫井正深(133,136),セドラチェク,T(134),シルヴィア,PJ(134),サッチャー,M(135),シーシキン,M(135),霜山徳爾(135),齋藤孝(136),清家篤(136)

た行

栃の心(126),高橋高見(126),デイリー,H(128),団士郎(129),高増明(129),高山忠利(129),手塚治虫(129),田中康夫(130),高山忠利(132),トッド,E(133),「ターミネーター・ジェネシス」(133),津野海太郎(135),鶴見俊輔(135),多和田葉子(135),「テッド2」(135),田尾安志(136=31),谷岡一郎(137),高橋由(137)

な行

中村修二(126,128),中垣俊之(130),中村桂子(130),中村秀明(131),野村総一郎(131),中西寛(132),長田弘(132),二木立(133),野田聖子(135)

は行

林文子(126,127),秀男(126),ピケティ,T(127,129),浜矩子(127),羽生結弦(128),ヘーゲル(129),バス,S(130),原敬(130),フランクリン,B(130),古屋隆(131),福岡伸一(131),パッキョオ,M(131),ヘプバーン,O(131),橋本英樹(133),白鵬(133),裴英洙(はい・えいしゅ)(133),福澤朗(133),ビナード,A(134),浜田文人(135),原武史(137)

ま行

宮澤賢治(126),益川敏英(127),松下圭一(128),幕内雅敏(129=118),武藤政春(129),向谷匡史(131,132),メルケル,A(131),丸谷才一(132),松本紘(133),三咲光郎(134),宮本雄二(134),松本俊彦(135),美智子皇太子妃(135),モイヤー,J(136)

や行

山本昌(126,136),山口二郎(126),米沢富美子(127),吉田茂(127),吉岡斉(129),夢枕漠(129,131),山本幸司(129),米倉涼子(129),行平信義(129),山本健慈(130),山極寿一(137)

ら行

リンドバーグ,AM(132=87)

わ行

鷺田清一(131,132),渡部卓(131),渡辺久哲(133),渡部陽一(134),若月俊一(134)